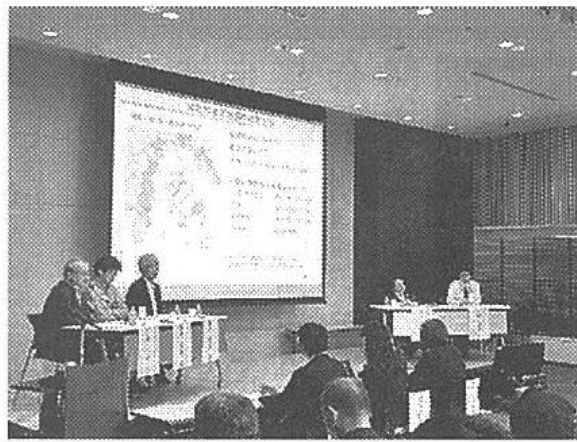


## 次代の都市防災 テーマにシンポ

自治体危機管理学会

日本自治体危機管理学会（中邨章会長）が主催するシンポジウム「次の時代の防災対策のあり方について」都市における防災課題を多面的に考える」が9月29日、東京都新宿区の新宿NSビルで開かれた。写真。事務局をオリエンタルコンサルタンツが担当。高齢者人口が増加することな

どに配慮した都市部の新たな防災対策をテーマに専門家による講演やパネルディスカッションが行われた。



第1部は、藤山秀章河川財団理事や加藤孝明東京大学生産技術研究所准教授、垣内俊哉ミライ口社長が高齢者や障害者、外国人観光客など災害時に配慮を要する者の視点から今後の防災対策の課題を説明。大西康弘オリエンタルコンサルタンツ関東支店地域活性化推進部次長は観光と防災の視点から話題提供を行った。第2部は、中林一樹明治大政治経済学研究所特任教授をコーディネーターを務め、第1部の参加者らが災害時配慮すべき点などについて議論した。